

先端創薬科学講座セミナーコース

Forefront of Drug Discovery Seminar 2026

<趣意書>

公益財団法人薬学振興会は 1925 年に設立され、2025 年には創立 100 周年を迎えました。東京大学における薬学の研究を奨励・助成し、もって我が国の学術の振興と人類の福祉に寄与することを目的としております。この目的を達成するため、東京大学大学院薬学系研究科・薬学部と緊密な連携のもとに、100 年にわたって活動し、次の 100 年に向けて新たなスタートをきろうとしております。薬学は、より良い医薬品の創成と適正な使用を目指すサイエンスであり、東京大学はこの領域のリーダーとして先端的な研究を行い、領域の未来を担う人材の育成において、国際的なフロンランナーであり続けているのです。その活動を、常にサポートし、時には緊密に協力して進めるのが本法人の役割です。

本法人は、その目的を達成するために特に東京大学が社会との連携を強めることに寄与すべく、薬学の専門知識に関して、業界、官界、医療の現場等で活躍している方々との情報交換を主な目的とする、社会人を主な対象とする二つのセミナーシリーズを開講しております。「先端創薬科学講座(FDD)セミナーコース」は 2005 年度から年に 1 回、年度後半の約 6 ヶ月間にわたり開催して好評を博して参りました。第 21 回目を迎える 2025 年度のセミナーについては、東京大学における講義の運営法に準拠して、講義への実参加を原則とする一方、主な参加者の所属する、製薬及び関連企業、医薬品規制当局などにおける感染症への対応の変化に柔軟に対処できるよう、また遠隔地からの参加も可能になるようにウェブを通しての参加もオプションとして準備させていただきます。内容的には前回の参加者を対象として行わせていただいたアンケート調査に基づき、学内外有識者による企画委員会を開いて内容の討論を重ね、「総論」、「疾病の理解から創薬へ」、「革新的な創薬新技術」、「薬を社会に届ける」、「特別講演」の構成(全 10 回(18 セミナー及び特別講演))にて、2025 年 9 月 12 日より 2026 年 2 月 27 日まで開講します。添付のポスター及び表をご覧ください。

本セミナーの主な対象は、企業において研究開発、臨床開発、企画、薬事等に携わっている方々や新しい医薬品の審査に関わっておられる方々で、最近の創薬研究活動の最先端を知っていただくことを目的としております。プログラムをご覧くださいと、情報科学の創薬への応用、イムノオンコロジー、ワクチン開発、イメージング技術、オルガノイド技術、コバレント創薬などの最先端や、医薬品の費用対効果などを、超豪華講師陣による最先端の講義とディスカッションが繰り広げられることがわかります。創薬研究において、最先端の話題に関する新しい情報にいち早く精通して日々の業務に生かすこと、また科学的に質の高い国際的に通用する創薬研究に必要な知識を確実に得ることなどが可能になります。コース終了時には、コースを受講し試験に合格したことを薬学系研究科長が認定し、修了証書を授与します。年齢やお立場にかかわらず奮ってご参加下さい。

公益財団法人薬学振興会 理事長

東京大学名誉教授

入村 達郎

東京大学大学院 薬学系研究科長

浦野 泰照